

ツト「西藏族等の如きは、皆純然たる蒙古種に屬するも、ヒマラヤ山脈を南に越ゆれば、「カシミヤ」、印度族、葱嶺の西面には、「バタクシヤン」、阿富汗族等の、皆「アリヤン」種に屬するものなるを見るべし。而して現状此の如く混血を許さざる地形に在りては發生當時に於ける太古の状況を推想するに、蒙古種は葱嶺の東面に、「アリヤン」種は其西面に蕃殖し、數千年の久しき、此高嶺に遮斷せられ、相互の交通なかりしことを推斷し得べきなり。而して此間兩大人種は各個各別に其發達を遂げしものゝ如し。

嶺の東北面なる蒙古種の一部は、新疆の和闐附近に數世土着し、其後東方に美土を覓めつゝ、黄河、揚子江の流域を下りて東遷土着し、人口の繁衍、文明の發達を致せり。是れ即ち漢族なり。又一部、北して大戈壁を過ぎ、天山を越え、更に東して内外蒙古一帯の沙漠中に水草を逐ふて遊牧せる者は、風土の關係上、依然太古の状態を脱する能はざるなり。是を蒙古族と爲す。其内尙ほ東進せる者は、各地に土着し、韃靼族と爲り、滿族と爲り、韓族と爲れり。而して發生地に近き西藏人及「バアルト」^{「ポット」}族の如きは、古來地形に制せられて遷徙せず、故に他種族と混血せずして原